

認定書

国住指第 394 号
令和 3 年 6 月 2 日

竹村工業株式会社
代表取締役社長 鹿養 広司 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第三号（屋根：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

FP030RF-1693-1

2. 認定をした構造方法等の名称

葺材 [めっき鋼板製、ステンレス鋼板製、チタン板製又は銅板製]・硬質木毛セメント板・フェノールフォーム板・グラスウール板表張/軽量鉄骨下地屋根

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

葺材 [めっき鋼板製、ステンレス鋼板製、チタン板製又は銅板製] ・硬質木毛セメント板・フェノールフォーム板・グラスウール板表張/軽量鉄骨下地屋根

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
厚さ	75.95以上
母屋間隔	607以下

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
①屋根葺材	[1]基 材 (1)～(18)のうち、いずれか一仕様とする (1)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3322 ・厚 さ 0.35～1.2 (2)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3318 ・厚 さ 0.35～1.2 (3)両面ポリエステル樹脂系塗装/アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定NM-9584) ・厚 さ 0.35～1.2 (4)フッ素樹脂系塗装/裏面ポリエステル樹脂系塗装/アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定NM-9662) ・厚 さ 0.35～1.2 (5)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3312 ・厚 さ 0.35～1.2 (6)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3321 ・厚 さ 0.35～1.2 (7)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3317 ・厚 さ 0.35～1.2 (8)両面ポリエステル樹脂系塗装/溶融アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定NM-1863) ・厚 さ 0.35～1.2 (9)塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定号NM-8697) ・厚 さ 0.35～1.2

項 目	仕 様
①屋根葺材 (つづき)	<p>(10)溶融亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3302 ・厚 さ 0.35～2.3 <p>(11)電気亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3313 ・厚 さ 0.35～2.3 <p>(12)熱間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4304 ・厚 さ 0.35～2.0 <p>(13)冷間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4305 ・厚 さ 0.35～2.0 <p>(14)耐熱鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4312 ・厚 さ 0.35～2.0 <p>(15)塗装ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3320 ・厚 さ 0.35～0.8 <p>(16)両面ポリエステル樹脂系塗装/亜鉛めっきステンレス鋼板 (国土交通大臣認定NM-9673)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4～0.8 <p>(17)チタン展伸材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS H 4600 ・厚 さ 0.35～2.0 <p>(18)銅 板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS H 3100 ・厚 さ 0.35～3.5 <p>[2]塗 装(表面材、裏面材用・基材は(1), (2), (5), (9), (15)の場合に限る)</p> <p>(1)～(8)のうち、いずれか一仕様または組み合わせとする</p> <p>(1)ポリエステル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 40g/m²以下 (表面:30g/m²以下・裏面:10g/m²以下) ・有機質量 22.0g/m²以下 (表面:17.1g/m²以下・裏面:4.9g/m²以下) <p>(2)フッ素系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 71g/m²以下 (表面:57g/m²以下・裏面:14g/m²以下) ・有機質量 34.5g/m²以下 (表面:28.5g/m²以下・裏面:6.0g/m²以下) <p>(3)エポキシ系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 88g/m²以下 (表面:44g/m²以下・裏面:44g/m²以下) ・有機質量 88g/m²以下 (表面:44g/m²以下・裏面:44g/m²以下) <p>(4)ウレタン系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) ・有機質量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) <p>(5)アクリル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) ・有機質量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下)

項 目	仕 様
①屋根葺材 (つづき)	<p>(6) アミノ・アルキド系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗布量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) ・有機質量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) <p>(7) 塩化ビニル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗布量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) ・有機質量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) <p>(8) シリコン系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗布量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) ・有機質量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) <p>[3]形 状</p> <p>(1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 立平葺き (働き幅200～853、山高さ15以上) (2) 横葺き (働き幅150～675、山高さ15以上) (3) 瓦棒葺き (働き幅150～675、山高さ15以上) (4) 折板葺き (働き幅200～606、山高さ15以上) (5) かん合式瓦棒葺き (働き幅200～565、山高さ40以上) (6) かん合式瓦棒葺き(丸棧) (働き幅200～565、山高さ40以上) (7) 本体押え込み縦葺き (働き幅200～565、山高さ60以上) (8) かん合式立ちハゼ葺き (働き幅200～522、山高さ42以上) (9) キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺き (働き幅200～360、山高さ20以上) <p>(別添-11, 12参照)</p>

項 目	仕 様
②キャップ	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <p>[1]基 材</p> <p>(1)～(20)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3322 ・厚 さ 0.35～1.2 <p>(2)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3318 ・厚 さ 0.35～1.2 <p>(3)両面ポリエステル樹脂系塗装/アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定NM-9584)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35～1.2 <p>(4)フッ素樹脂系塗装/裏面ポリエステル樹脂系塗装/アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定NM-9662)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35～1.2 <p>(5)塗装溶融亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3312 ・厚 さ 0.35～1.2 <p>(6)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3321 ・厚 さ 0.35～1.2 <p>(7)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3317 ・厚 さ 0.35～1.2 <p>(8)両面ポリエステル樹脂系塗装/溶融アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定NM-1863)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35～1.2 <p>(9)塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定NM-8697)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35～1.2 <p>(10)溶融亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3302 ・厚 さ 0.35～2.3 <p>(11)電気亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3313 ・厚 さ 0.35～2.3 <p>(12)熱間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4304 ・厚 さ 0.35～2.0 <p>(13)冷間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4305 ・厚 さ 0.35～2.0 <p>(14)耐熱鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4312 ・厚 さ 0.35～2.0 <p>(15)塗装ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3320 ・厚 さ 0.35～0.8 <p>(16)両面ポリエステル樹脂系塗装/亜鉛めっきステンレス鋼板 (国土交通大臣認定NM-9673)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4～0.8

項 目	仕 様
②キャップ (つづき)	<p>(17)チタン展伸材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS H 4600 ・厚 さ 0.35～2.0 <p>(18)銅 板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS H 3100 ・厚 さ 0.35～3.5 <p>(19)アルミニウム合金押出形材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS H 4100 ・厚 さ 1.0～3.5 <p>(20)合成樹脂塗装チタン亜鉛合金板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ $0.5_{\pm 0.03} \sim 2.0_{\pm 0.03}$ <p>[2]塗 装(基材は(1), (2), (5), (9), (15)の場合に限る)</p> <p>(1)～(8)のうち、いずれか一仕様または組み合わせとする</p> <p>(1)ポリエステル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 $40\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$30\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$10\text{g}/\text{m}^2$以下) ・有機質量 $22.0\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$17.1\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$4.9\text{g}/\text{m}^2$以下) <p>(2)フッ素系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 $71\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$57\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$14\text{g}/\text{m}^2$以下) ・有機質量 $34.5\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$28.5\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$6.0\text{g}/\text{m}^2$以下) <p>(3)エポキシ系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 $88\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$44\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$44\text{g}/\text{m}^2$以下) ・有機質量 $88\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$44\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$44\text{g}/\text{m}^2$以下) <p>(4)ウレタン系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 $78\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下) ・有機質量 $78\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下) <p>(5)アクリル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 $78\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下) ・有機質量 $78\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下) <p>(6)アミノ・アルキド系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 $78\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下) ・有機質量 $78\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下) <p>(7)塩化ビニル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 $78\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下) ・有機質量 $78\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下) <p>(8)シリコン系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 $78\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下) ・有機質量 $78\text{g}/\text{m}^2$以下 (表面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下・裏面:$39\text{g}/\text{m}^2$以下) <p>[3]表面処理(基材(19)の場合に限る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 アルマイト <p>[4]形 状</p> <p>(1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)瓦棒葺き</p> <p>(2)折板葺き</p> <p>(3)かん合式瓦棒葺き</p> <p>(4)かん合式瓦棒葺き(丸棧)</p> <p>(5)本体押え込み縦葺き</p> <p>(6)かん合式立ちハゼ葺き</p> <p>(7)キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺き</p> <p>(別添-11, 12参照)</p>

項 目	仕 様																																
③吊 子	<p>[1]基 材 キャップと同じ</p> <p>[2]塗 装(基材(1), (2), (5), (9), (15)の場合に限る) キャップと同じ</p> <p>[3]表面処理(基材(19)の場合に限る) ・材質 アルマイト</p> <p>[4]間 隔</p> <table border="0"> <tr> <td>(1)立平葺き</td> <td>635以下又は通し</td> </tr> <tr> <td>(2)横葺き</td> <td>675以下又は通し</td> </tr> <tr> <td>(3)瓦棒葺き</td> <td>635以下又は通し</td> </tr> <tr> <td>(4)折板葺き</td> <td>635以下</td> </tr> <tr> <td>(5)かん合式瓦棒葺き</td> <td>635以下又は通し</td> </tr> <tr> <td>(6)かん合式瓦棒葺き(丸棧)</td> <td>635以下又は通し</td> </tr> <tr> <td>(7)本体押え込み縦葺き</td> <td>635以下又は通し</td> </tr> <tr> <td>(8)かん合式立ちハゼ葺き</td> <td>635以下又は通し</td> </tr> <tr> <td>(9)キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺き</td> <td>635以下又はなし</td> </tr> </table> <p>[5]形 状 (ピース又は通し) (1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <table border="0"> <tr> <td>(1)仕様-1(立平葺きの場合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)仕様-2(横葺きの場合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3)仕様-3(瓦棒葺きの場合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4)仕様-4(折板葺きの場合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5)仕様-5(かん合式瓦棒葺き, かん合式瓦棒葺き(丸棧), 本体押え込み縦葺きの場合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6)仕様-6(かん合式立ちハゼ葺きの場合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(7)仕様-7(キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺きの場合)</td> <td></td> </tr> </table> <p>(別添-11, 12参照)</p> <p>[6]寸法 (ピースの場合) 40\pm5以上 (別添-11, 12参照)</p>	(1)立平葺き	635以下又は通し	(2)横葺き	675以下又は通し	(3)瓦棒葺き	635以下又は通し	(4)折板葺き	635以下	(5)かん合式瓦棒葺き	635以下又は通し	(6)かん合式瓦棒葺き(丸棧)	635以下又は通し	(7)本体押え込み縦葺き	635以下又は通し	(8)かん合式立ちハゼ葺き	635以下又は通し	(9)キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺き	635以下又はなし	(1)仕様-1(立平葺きの場合)		(2)仕様-2(横葺きの場合)		(3)仕様-3(瓦棒葺きの場合)		(4)仕様-4(折板葺きの場合)		(5)仕様-5(かん合式瓦棒葺き, かん合式瓦棒葺き(丸棧), 本体押え込み縦葺きの場合)		(6)仕様-6(かん合式立ちハゼ葺きの場合)		(7)仕様-7(キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺きの場合)	
(1)立平葺き	635以下又は通し																																
(2)横葺き	675以下又は通し																																
(3)瓦棒葺き	635以下又は通し																																
(4)折板葺き	635以下																																
(5)かん合式瓦棒葺き	635以下又は通し																																
(6)かん合式瓦棒葺き(丸棧)	635以下又は通し																																
(7)本体押え込み縦葺き	635以下又は通し																																
(8)かん合式立ちハゼ葺き	635以下又は通し																																
(9)キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺き	635以下又はなし																																
(1)仕様-1(立平葺きの場合)																																	
(2)仕様-2(横葺きの場合)																																	
(3)仕様-3(瓦棒葺きの場合)																																	
(4)仕様-4(折板葺きの場合)																																	
(5)仕様-5(かん合式瓦棒葺き, かん合式瓦棒葺き(丸棧), 本体押え込み縦葺きの場合)																																	
(6)仕様-6(かん合式立ちハゼ葺きの場合)																																	
(7)仕様-7(キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺きの場合)																																	
④タイトフレーム	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <table border="0"> <tr> <td>(1)なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)あり(屋根葺材形状が(4)折板葺きの場合に限る)</td> <td></td> </tr> </table> <p>[1]基 材 キャップと同じ</p> <p>[2]塗 装(基材(1), (2), (5), (9), (15)の場合に限る) キャップと同じ</p> <p>[3]表面処理(基材(19)の場合に限る) ・材質 アルマイト</p> <p>[4]間 隔 635以下</p>	(1)なし		(2)あり(屋根葺材形状が(4)折板葺きの場合に限る)																													
(1)なし																																	
(2)あり(屋根葺材形状が(4)折板葺きの場合に限る)																																	

項 目	仕 様
⑤野地板	<p>[1]と[2]と[3]を[4]で貼り合わせた複合板</p> <p>[1]硬質木毛セメント板(国土交通大臣認定QM-9022)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 5404 ・厚 さ 15～30 ・長 さ 1820以下 ・幅 910以下 ・密 度 $1.0_{\pm 0.12} \text{g/cm}^3$以上 <p>[2]フェノールフォーム板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) JIS A 9511 (2) JIS A 9521 ・組 成 (質量%) フェノール系樹脂 (レゾール系樹脂) 100 発泡剤 (炭化水素) $5_{\pm 2}$ (外割) ・厚 さ 20～100 ・長 さ 1820以下 ・幅 910以下 ・密 度 $27_{\pm 2.7} \sim 29_{\pm 3} \text{kg/m}^3$ ・面 材 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエステル不織布 ・有機質量 $30_{\pm 3} \text{g/m}^2$ (両面) (2) ポリプロピレン不織布 ・有機質量 $30_{\pm 3} \text{g/m}^2$ (両面) (3) ポリエチレン加工紙 ・有機質量 $30_{\pm 3} \text{g/m}^2$ (両面) (4) アルミニウムはく <p>[3]グラスウール保温板</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 化粧グラスウール保温板(国土交通大臣認定NM-8610)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 25～50 ・密 度 $80 \sim 96 \text{kg/m}^3$ ・外 被 ガラス不織布、片面貼り付け (目付40g/m^2) <p>(2) グラスウール保温板(国土交通大臣認定NM-8605)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 25～50 ・密 度 $80 \sim 96 \text{kg/m}^3$ <p>[4]接着剤：酢酸ビニル系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗布量250g/m^2以下 (有機量90g/m^2以下)

2)副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
①留付け材	<p>[1]屋根葺材留付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)タッピングねじ ・ 寸 法 $\phi 4$以上×L80以上 ・ 間 隔 675以下 ・ 材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)鉄 2)ステンレス (2)なし</p> <p>[2]吊子及びタイトフレーム留付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)タッピングねじ ・ 寸 法 $\phi 4$以上×L18以上 ・ 間 隔 675以下 ・ 材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)鉄 2)ステンレス (2)なし(キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺きの場合に限る)</p> <p>[3]野地板留付け用 ドリリングタッピングねじ ・ 寸 法 $\phi 5$以上×L80以上 ・ 間 隔 355以下 ・ 材 質 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)鉄 (2)ステンレス</p> <p>[4]防水材留付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)ステーブル ・ 寸 法 幅9.6以上×足長10以上 ・ 材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)鉄 2)ステンレス (2)なし</p> <p>[5]下地鉄板留付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)ドリリングタッピンねじ ・ 寸 法 $\phi 4$以上×L32以上 ・ 間 隔 1000以下 ・ 材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)鉄 2)ステンレス (2)なし</p>

項 目	仕 様
②防水材	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)ゴムアスファルトシート ・ 質 量 2875g/m ² 以下 ・ 厚 さ 1.0～3.0 (2)アスファルトルーフィングフェルト ・ 規 格 JIS A 6005 ・ 質 量 1625g/m ² 以下 ・ 厚 さ 0.6～1.5 (3)合成高分子系ルーフィングシート ・ 規 格 JIS A 6008 ・ 質 量 2750g/m ² 以下 ・ 厚 さ 1.2～2.0
③ジョイナー	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり [1]基 材 ・ 形 状 T型 ・ 寸 法 幅20以上×高さ5以上 ・ 材 質 (1)～(11)のうち、いずれか一仕様とする (1)溶融亜鉛めっき鋼板 ・ 規 格 JIS G 3302 ・ 厚 さ 0.27～0.4 (2)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ 規 格 JIS G 3312 ・ 厚 さ 0.27～0.4 (3)熱間圧延ステンレス鋼板 ・ 規 格 JIS G 4304 ・ 厚 さ 0.3～0.4 (4)冷間圧延ステンレス鋼板 ・ 規 格 JIS G 4305 ・ 厚 さ 0.3～0.4 (5)耐熱鋼板 ・ 規 格 JIS G 4312 ・ 厚 さ 0.3～0.4 (6)塗装ステンレス鋼板 ・ 規 格 JIS G 3320 ・ 厚 さ 0.3～0.4 (7)溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 ・ 規 格 JIS G 3321 ・ 厚 さ 0.27～0.4 (8)塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 ・ 規 格 JIS G 3322 ・ 厚 さ 0.27～0.4 (9)アルミニウム板 ・ 規 格 JIS H 4000 ・ 厚 さ 0.5～1.0 (10)塗装アルミニウム板 ・ 規 格 JIS H 4001 ・ 厚 さ 0.5～1.0 (11)アルミニウム合金押出形材 ・ 規 格 JIS H 4100 ・ 厚 さ 1.0～3.5

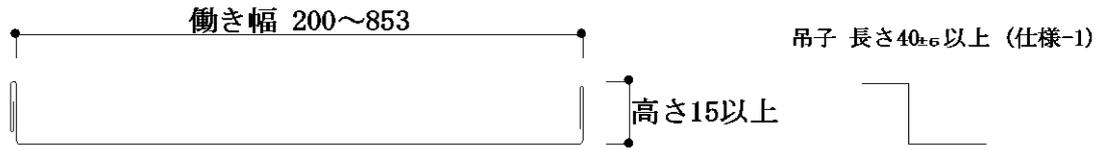
項 目	仕 様
③ジョイナー (つづき)	<p>[2]塗 装(基材(2)、(6)、(8)、(10)の場合に限る))</p> <p>(1)～(8)のうち、いずれか一仕様または組み合わせとする</p> <p>(1)ポリエステル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 40g/m²以下 (表面:30g/m²以下・裏面:10g/m²以下) ・有機質量 22.0g/m²以下 (表面:17.1g/m²以下・裏面:4.9g/m²以下) <p>(2)フッ素系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 71g/m²以下 (表面:57g/m²以下・裏面:14g/m²以下) ・有機質量 34.5g/m²以下 (表面:28.5g/m²以下・裏面:6.0g/m²以下) <p>(3)エポキシ系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 88g/m²以下 (表面:44g/m²以下・裏面:44g/m²以下) ・有機質量 88g/m²以下 (表面:44g/m²以下・裏面:44g/m²以下) <p>(4)ウレタン系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) ・有機質量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) <p>(5)アクリル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) ・有機質量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) <p>(6)アミノ・アルキド系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) ・有機質量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) <p>(7)塩化ビニル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) ・有機質量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) <p>(8)シリコン系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗 布 量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) ・有機質量 78g/m²以下 (表面:39g/m²以下・裏面:39g/m²以下) <p>[3]表面処理(基材(11)の場合に限る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 アルマイト
④下地鉄板	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) 2)塗装ステンレス鋼板(国土交通大臣認定：NM-8321、NM-8316) ・厚さ 0.27以上

4. 構造説明図

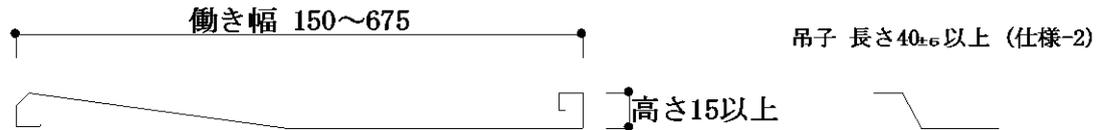
(寸法単位 : mm)

[屋根葺材断面図]

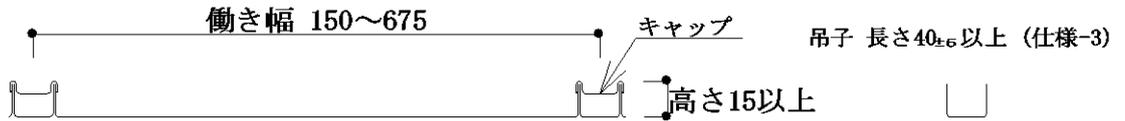
(1) 立平葺き



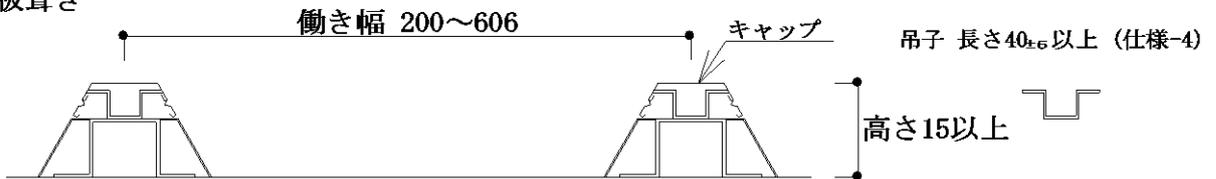
(2) 横葺き



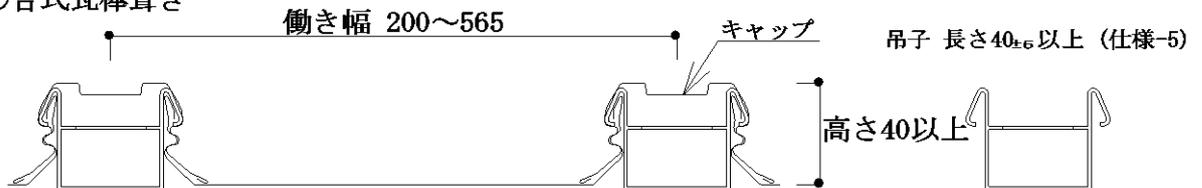
(3) 瓦棒葺き



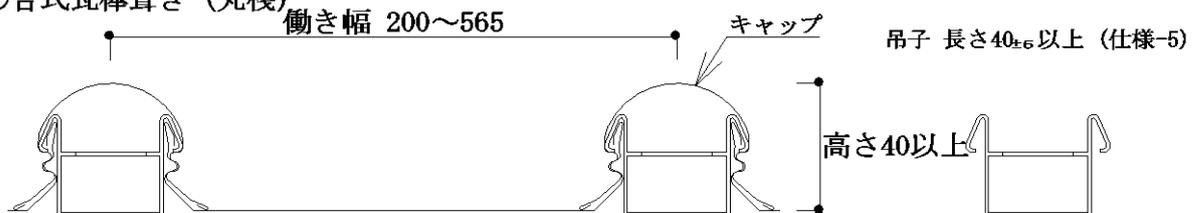
(4) 折板葺き



(5) かん合式瓦棒葺き

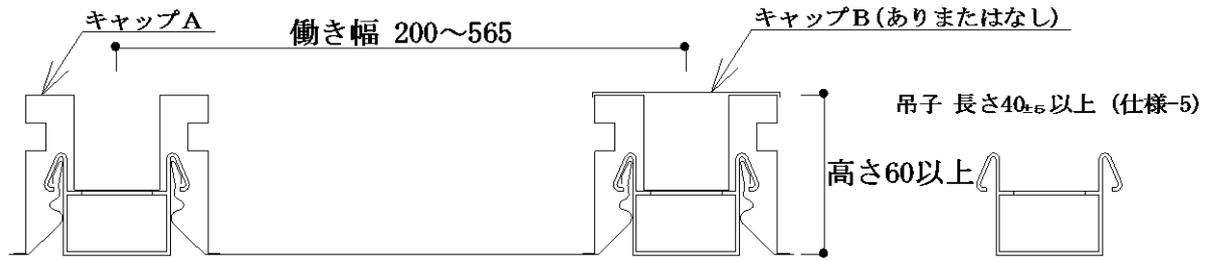


(6) かん合式瓦棒葺き (丸棧)

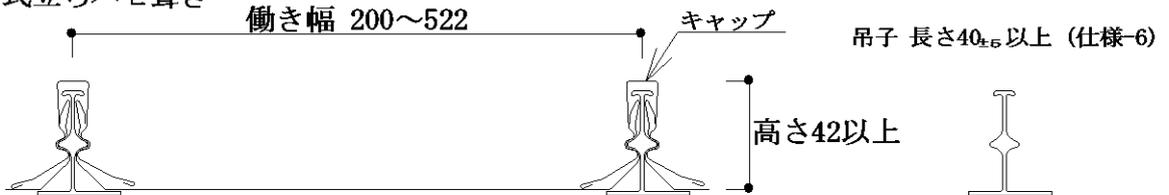


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

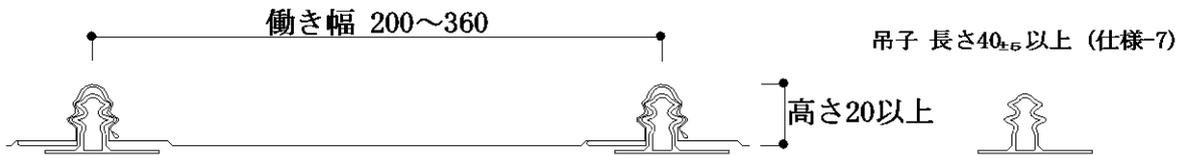
(7) 本体押え込み縦葺き



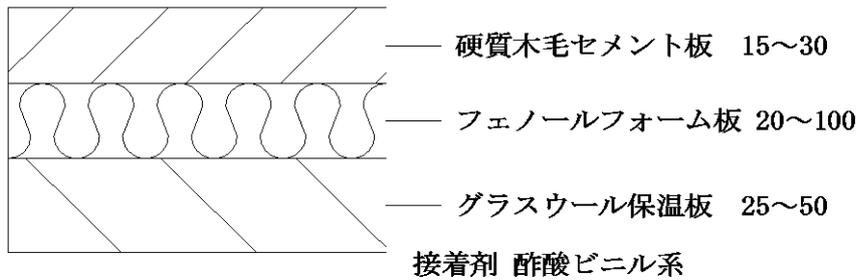
(8) かん合式立ちハゼ葺き



(9) キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺き



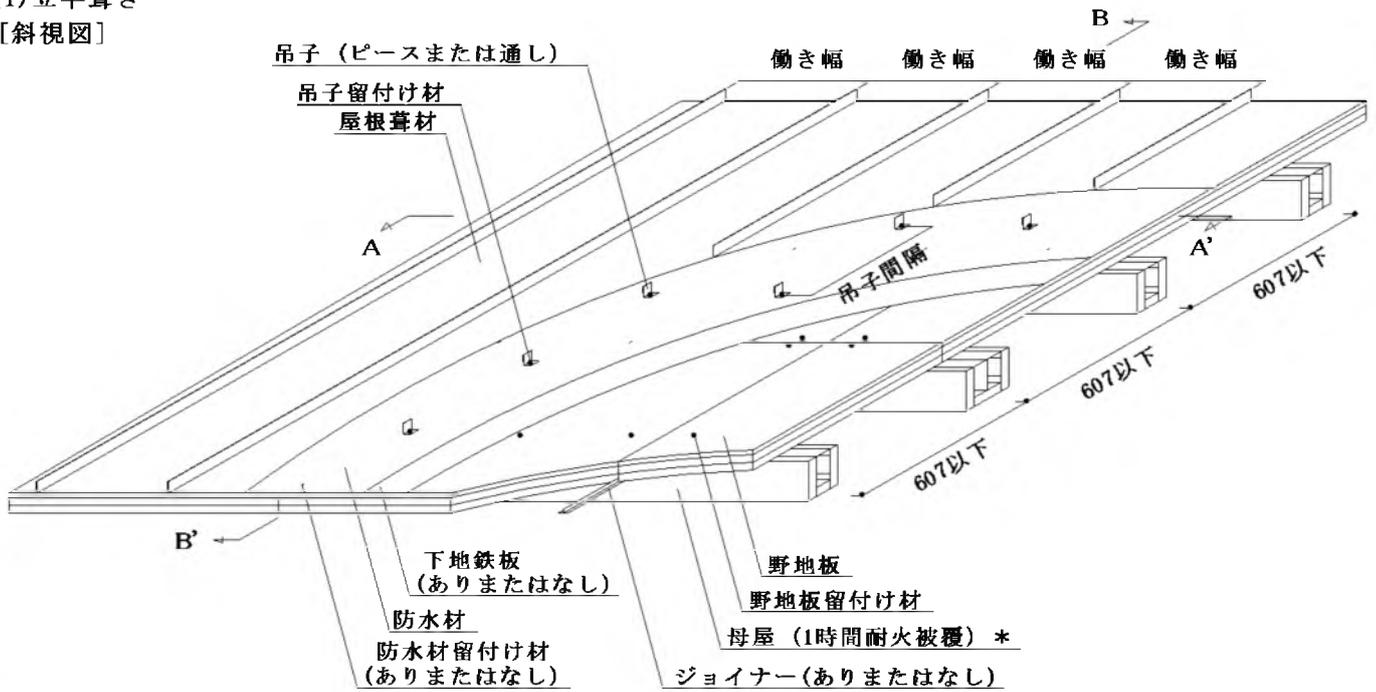
[野地板の構成]



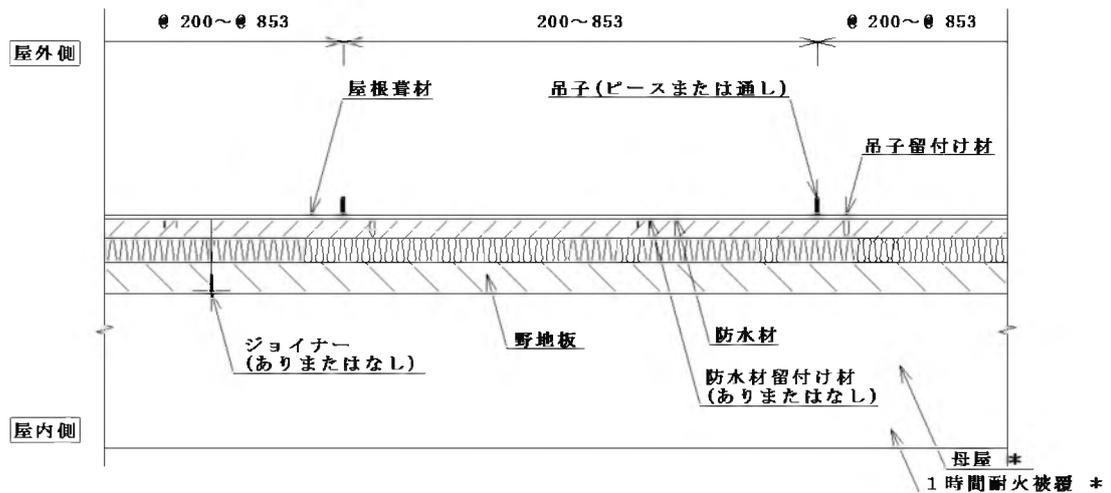
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(寸法単位：mm)

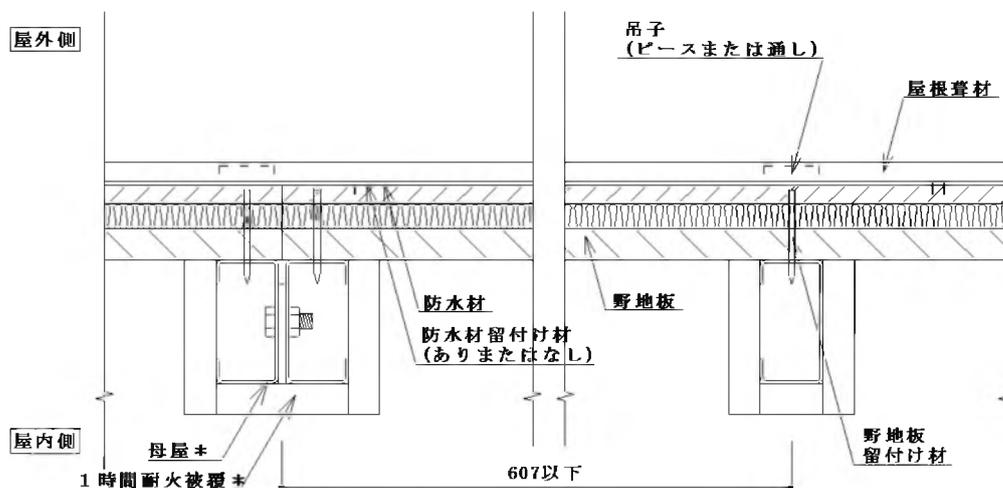
(1) 立平葺き
[斜視図]



[A - A' 断面詳細図]



[B - B' 断面詳細図]

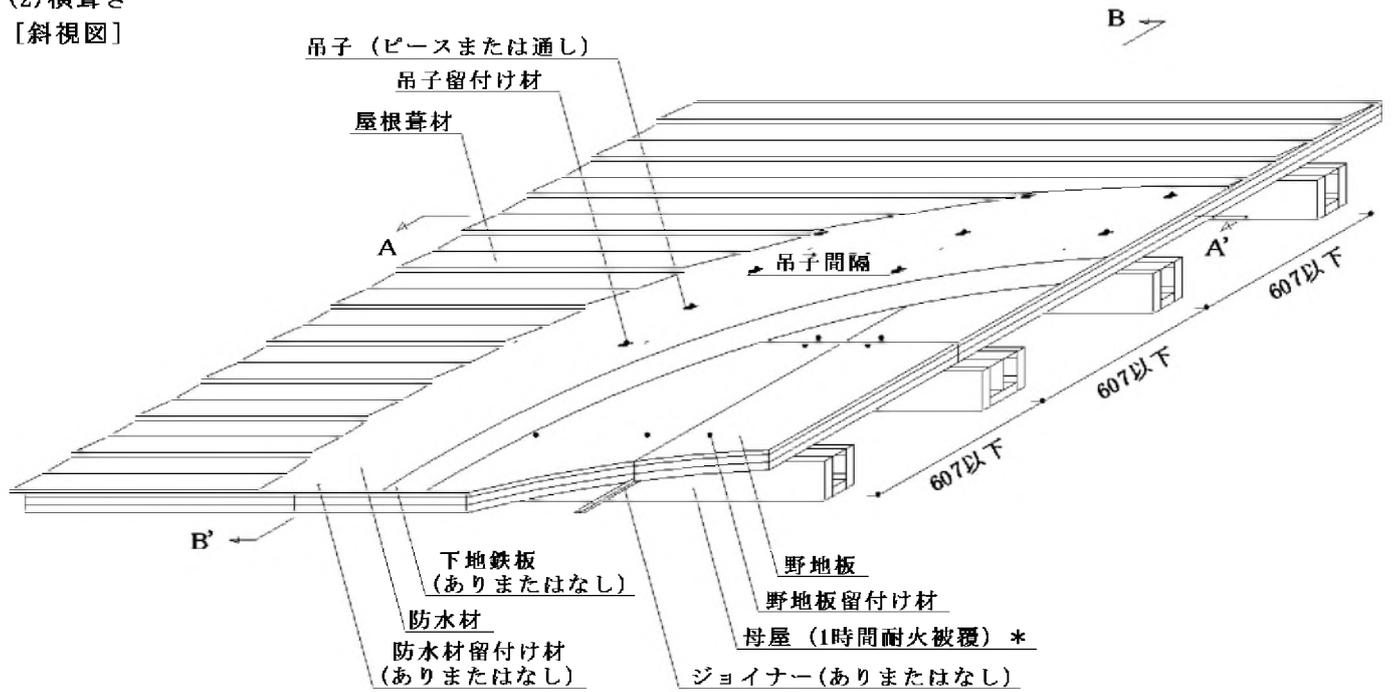


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

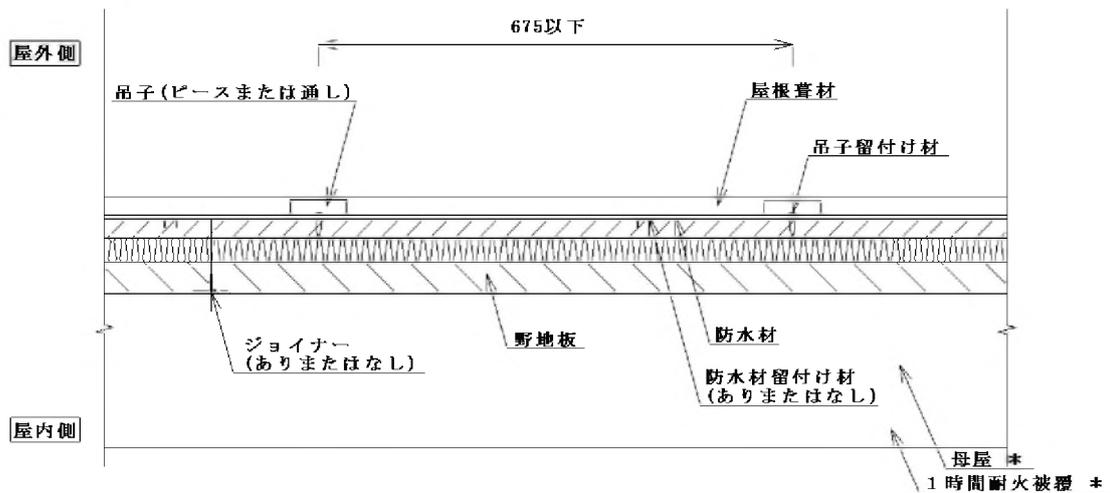
*: 本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

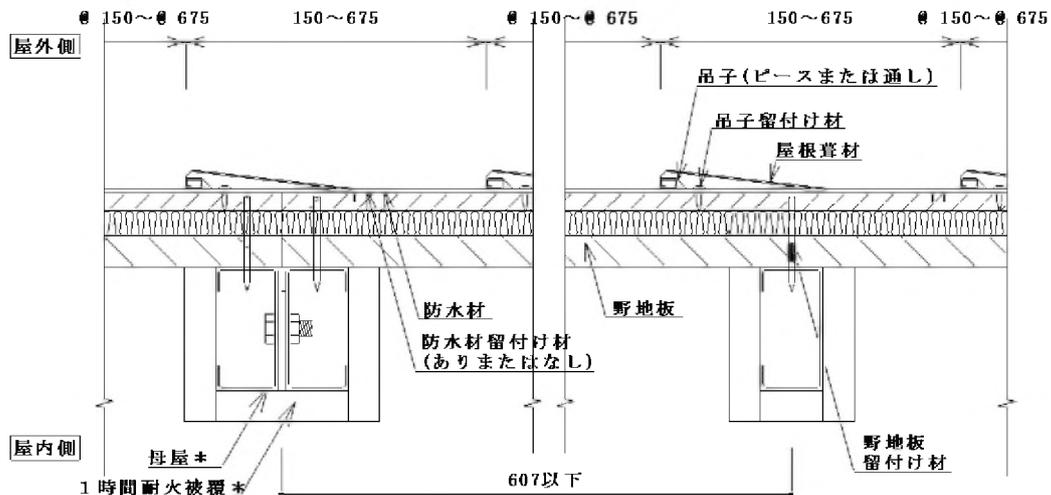
(2)横葺き
[斜視図]



[A - A' 断面詳細図]



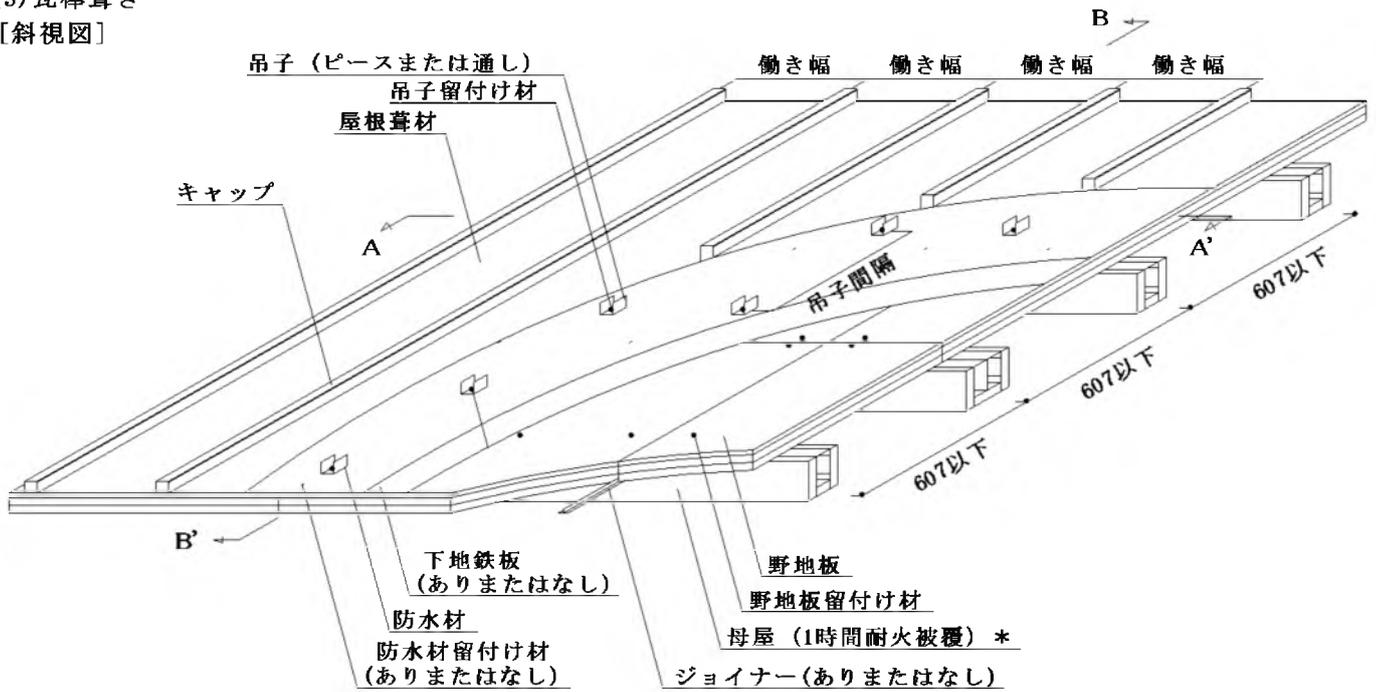
[B - B' 断面詳細図]



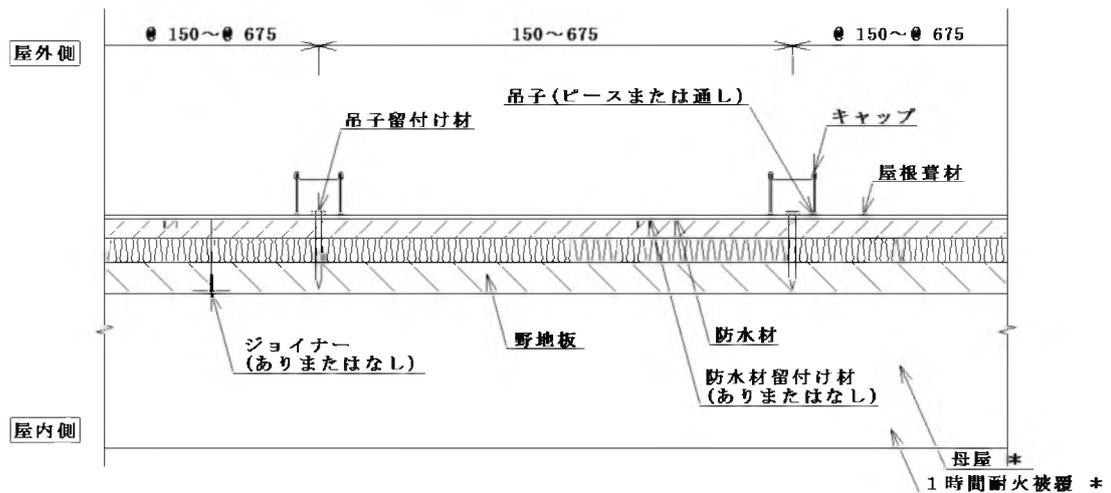
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
*: 本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

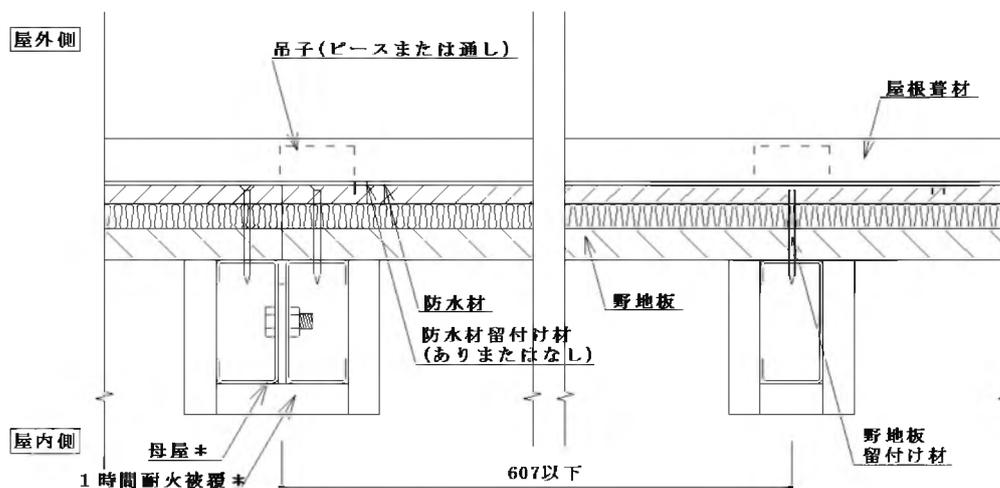
(3) 瓦棒葺き
[斜視図]



[A - A' 断面詳細図]

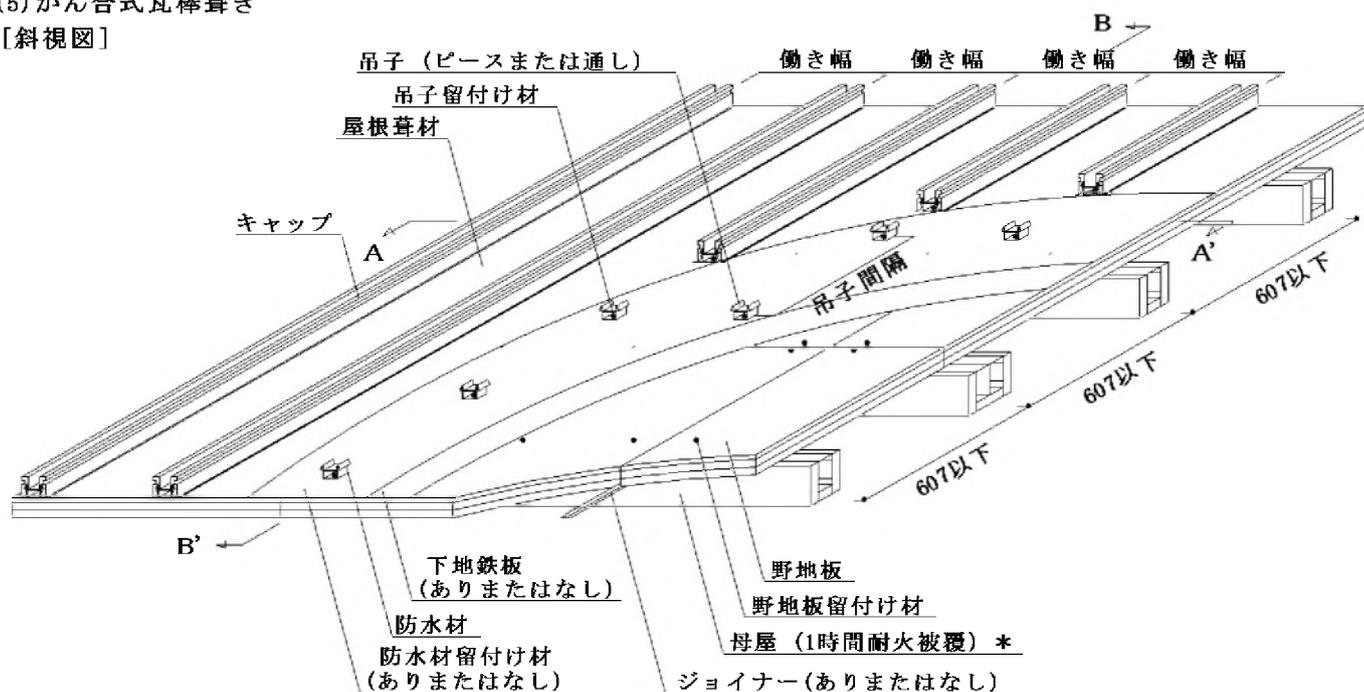


[B - B' 断面詳細図]

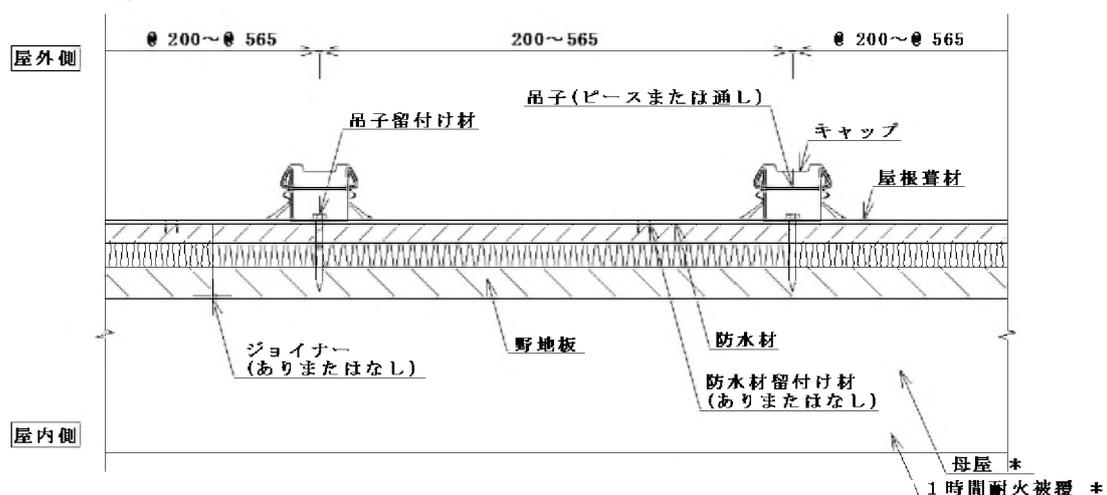


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
*: 本評価内容に含まない

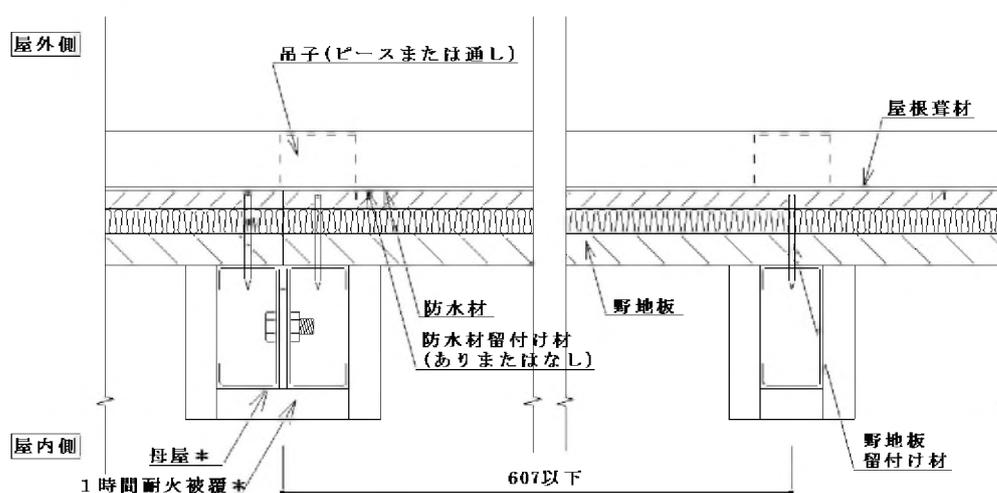
(5) かん合式瓦棒葺き
[斜視図]



[A - A' 断面詳細図]



[B - B' 断面詳細図]

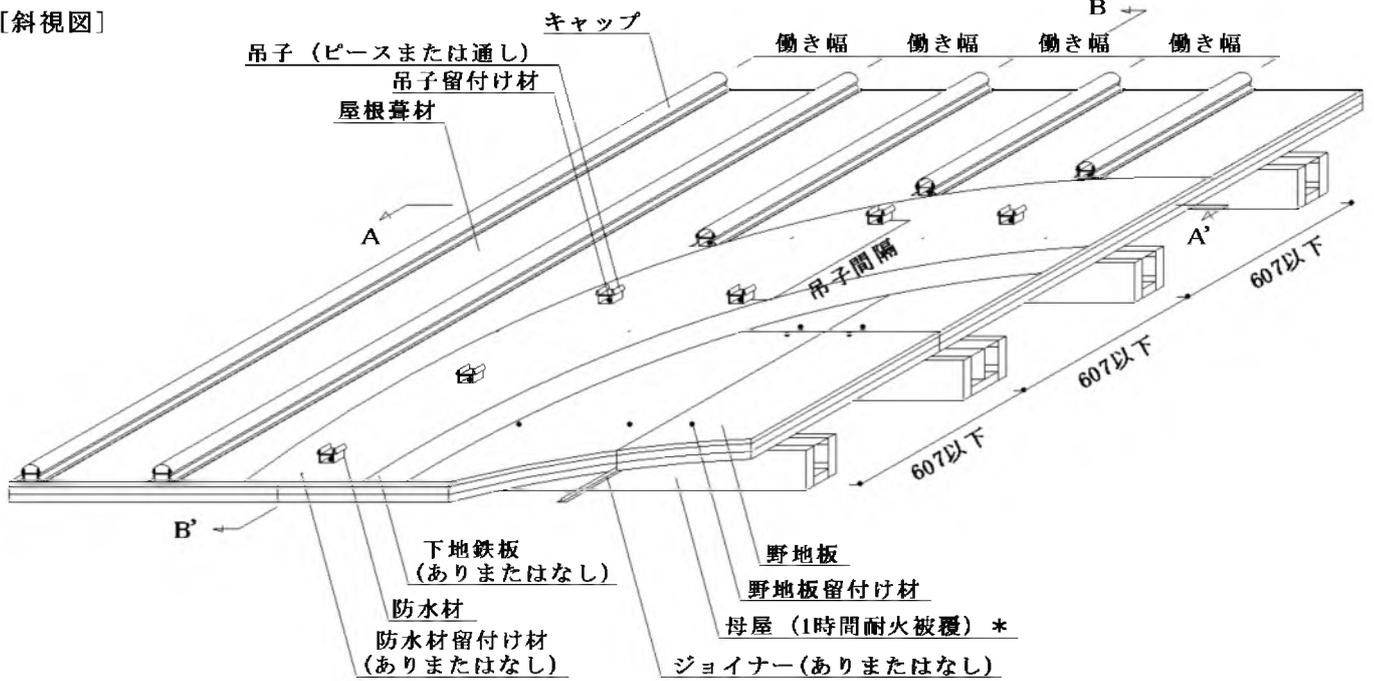


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
*: 本評価内容に含まない

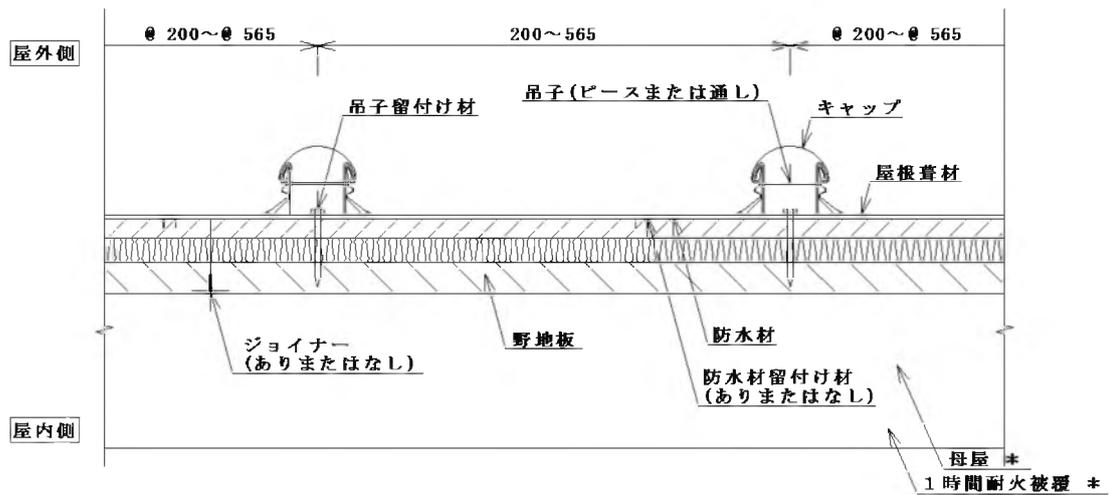
(寸法単位：mm)

(6) かん合式瓦棒葺き(丸棧)

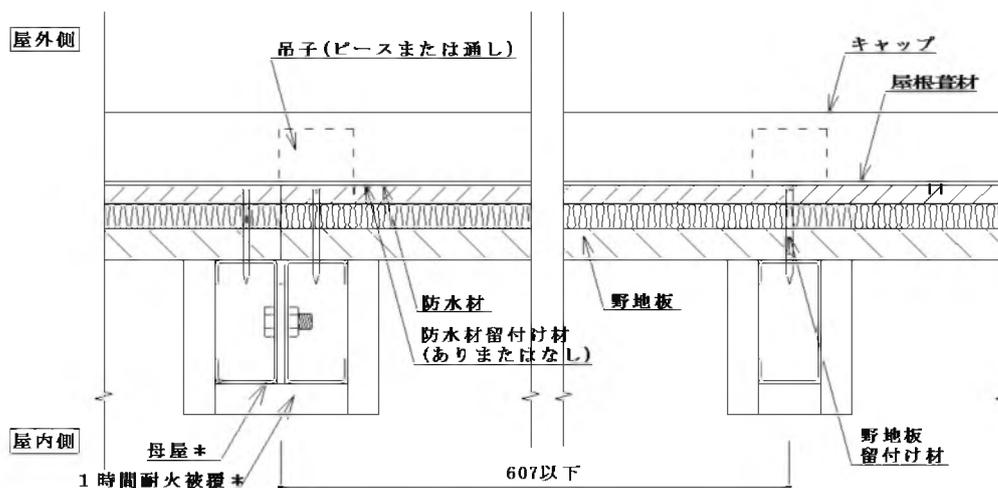
[斜視図]



[A - A' 断面詳細図]



[B - B' 断面詳細図]

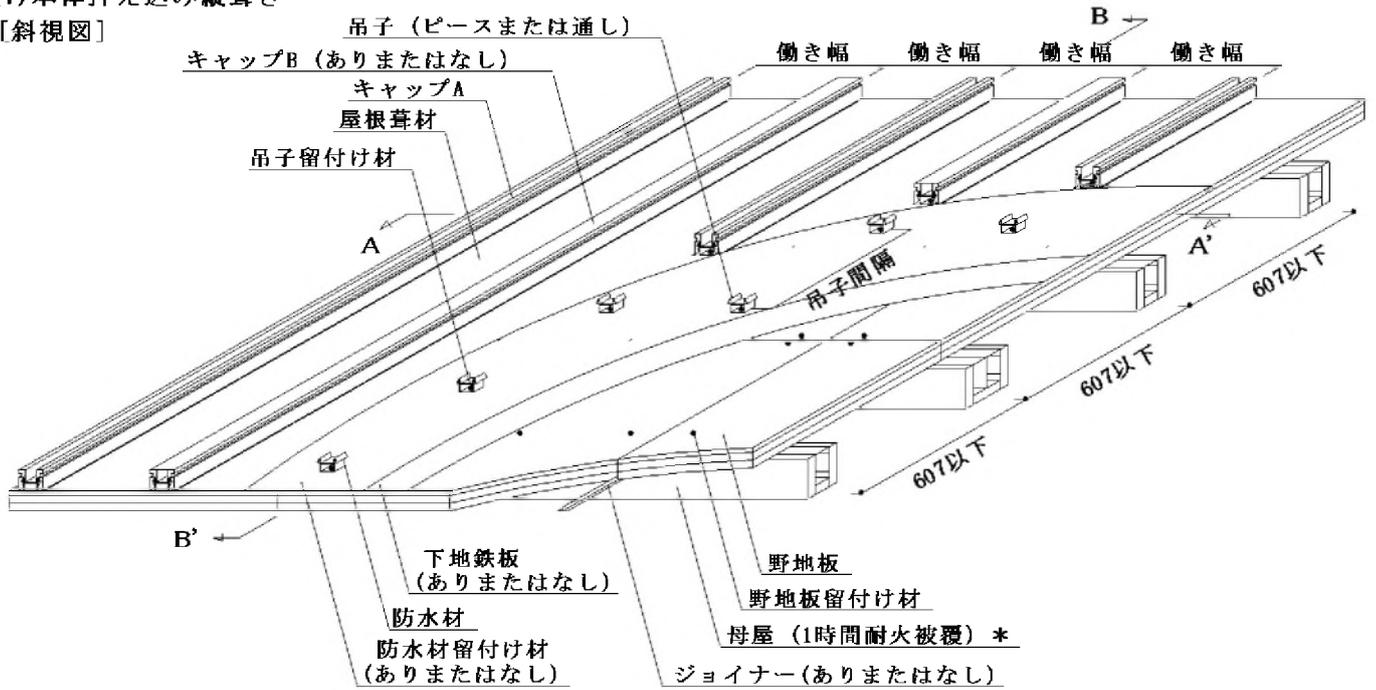


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

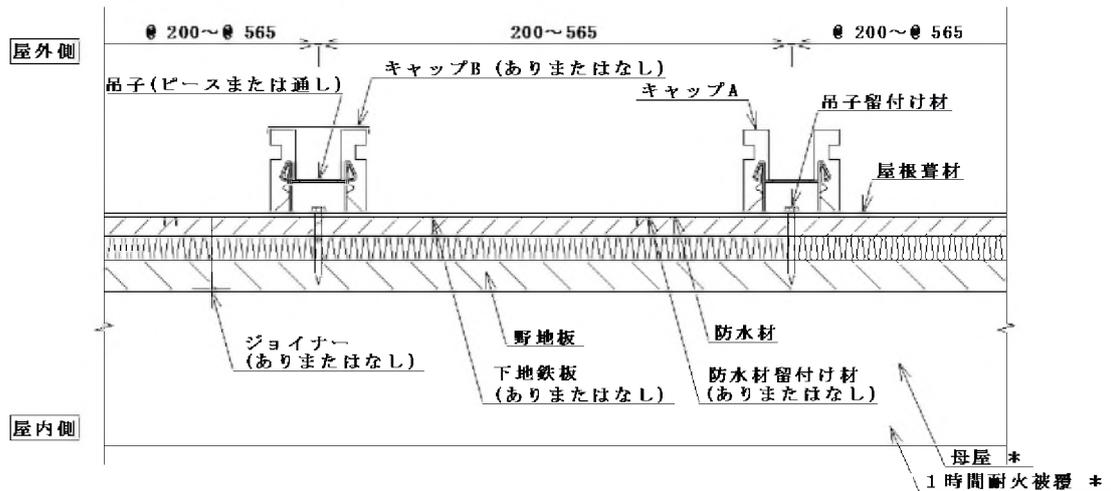
*: 本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

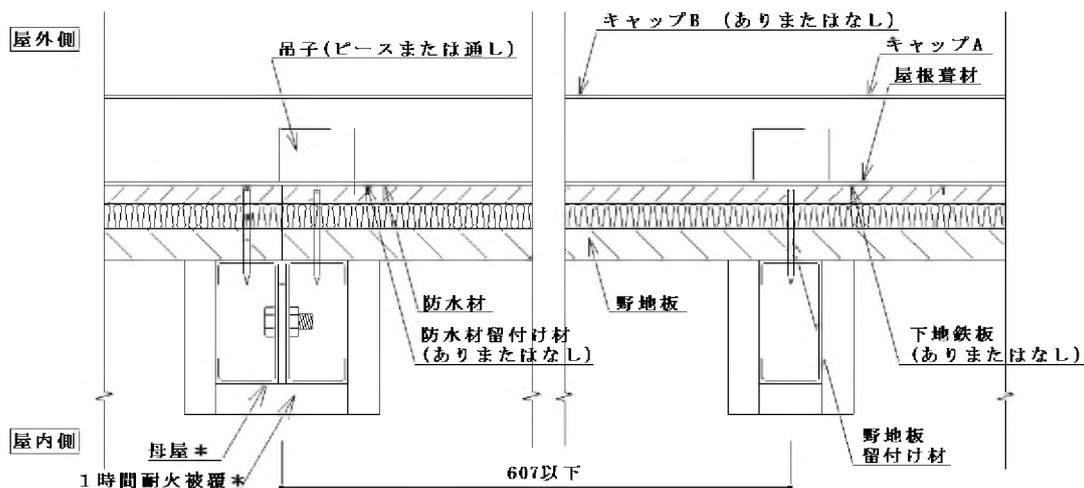
(7) 本体押え込み縦葺き
[斜視図]



[A - A' 断面詳細図]



[B - B' 断面詳細図]

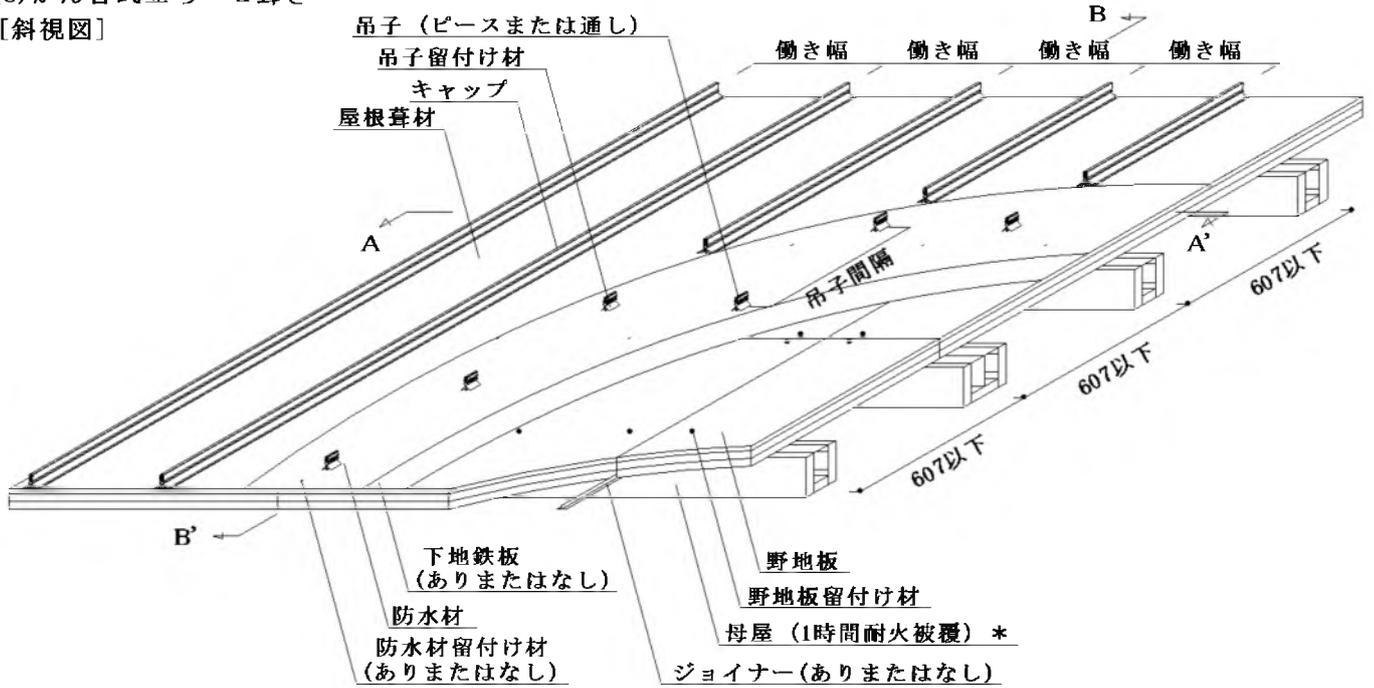


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

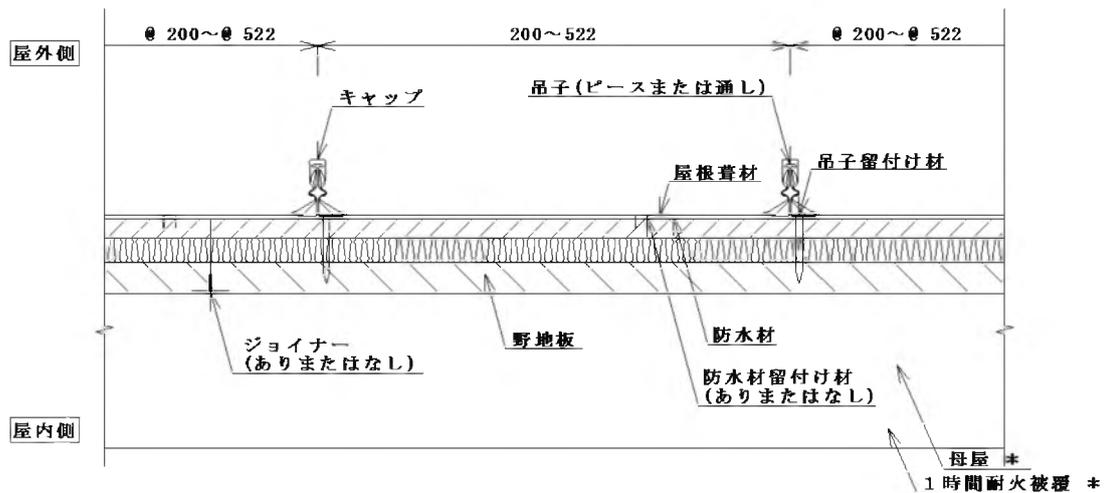
*: 本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

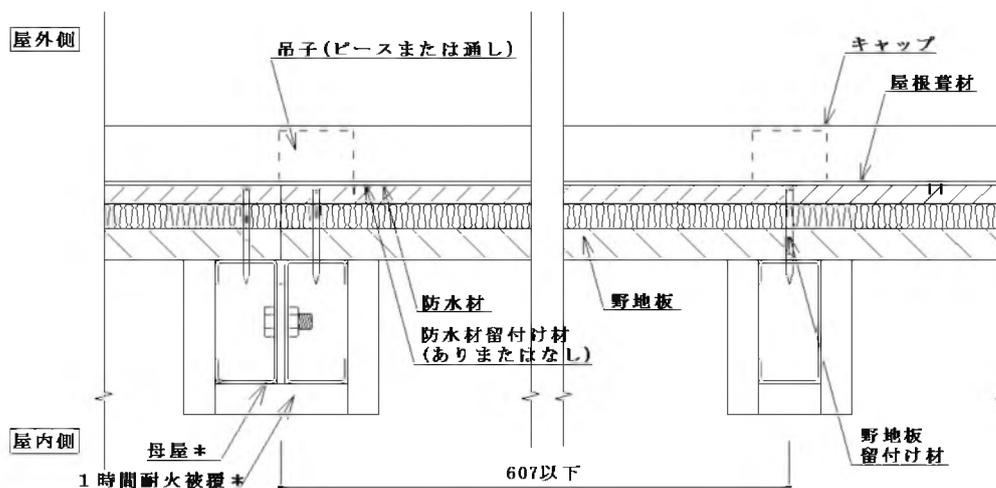
(8) かん合式立ちハゼ葺き
[斜視図]



[A - A' 断面詳細図]



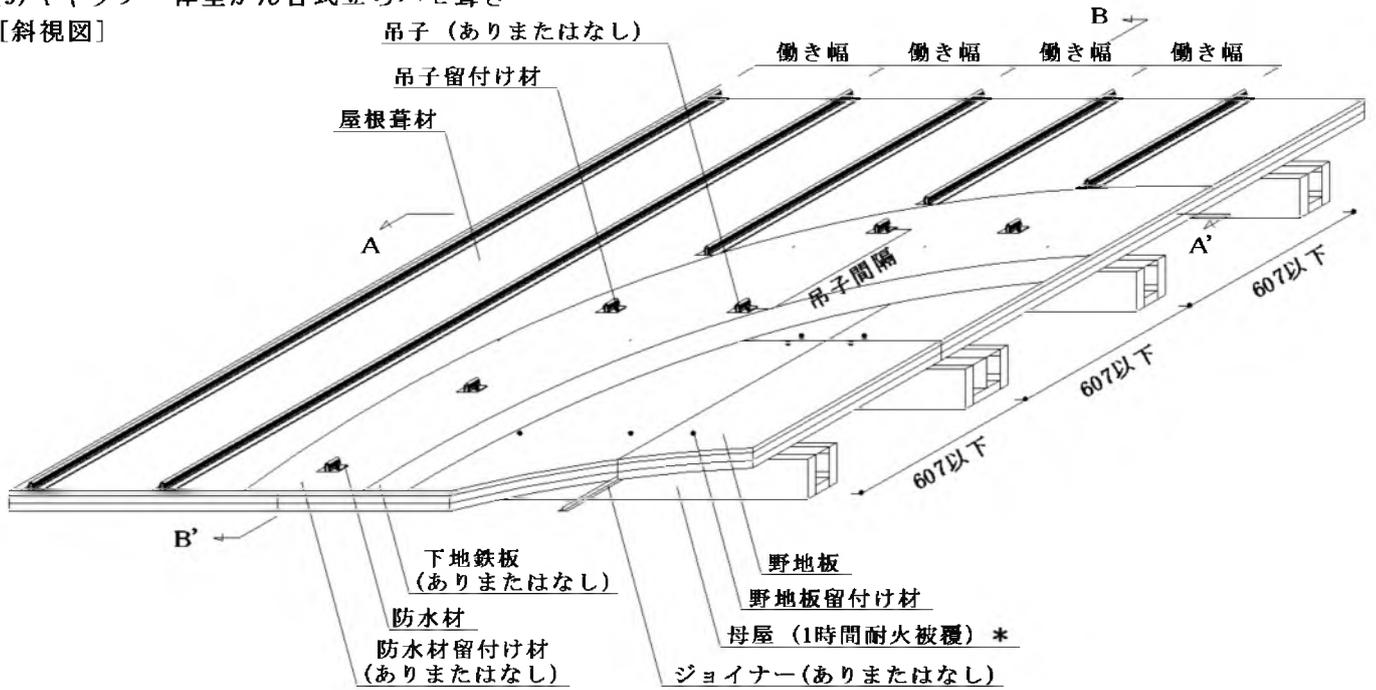
[B - B' 断面詳細図]



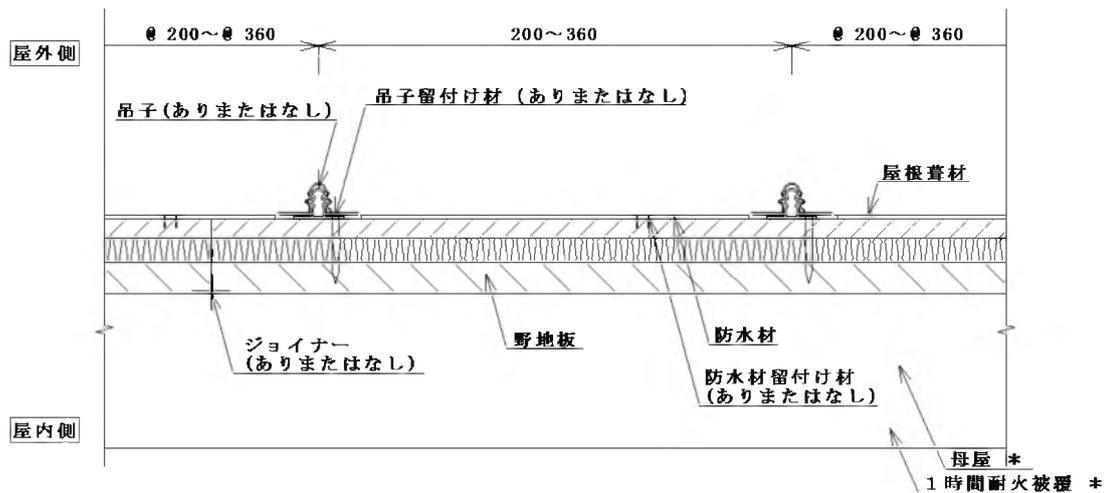
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
*: 本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

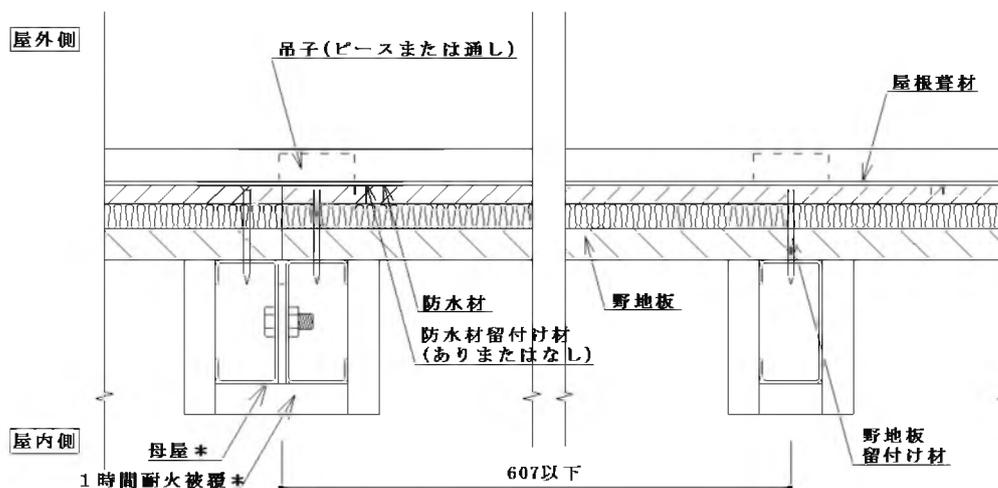
(9) キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺き
[斜視図]



[A - A' 断面詳細図]



[B - B' 断面詳細図]



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
*: 本評価内容に含まない

5. 施工方法等

< 施工図 >

4. 構造説明図と同じ

< 施工手順 >

(1) 母屋間隔は607mm以下とし、平成12年建設省告示第1399号第4第三号ニの規定に該当しない場合には耐火1時間の被覆を施す。

(2) 野地板の取付け

① 母屋に合わせて野地板を配置する。

② 母屋上の目地は突付け、母屋と直交する目地にはジョイナー(ありまたはなし)を入れる。

③ 取付けは留付け材を用いて、複合板端部から100mm以内の位置で母屋に留付ける。その間隔は355mm以内とする。

(3) 下地鉄板(ありまたはなし)の取付け

留付け材を用いて母屋に留付ける。その間隔は1000mm以内とする。

(4) 防水材の張付

防水材を、重ね代100mm以上となるように野地板の上に敷き込む。

必要に応じてタッカーなどで仮留めする。

(5) 屋根葺き

イ) 葺き仕様：①立平葺き、②横葺き、③瓦棒葺き、⑤かん合式瓦棒葺き、⑥かん合式瓦棒葺き(丸棧)

⑦本体押え込み縦葺き、⑧かん合式立ちハゼ葺き

及び⑨キャップ一体型かん合式立ちハゼ葺きの場合

・吊子を吊子留付け材で、野地板又は母屋に留付ける。(①、②、③、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨)

・屋根葺材を吊子に固定する。

又は、屋根葺材を直接屋根葺材留付け材にて、野地板又は母屋に留付ける。(①、⑨)

ロ) 葺き仕様：④折板葺きの場合

・タイトフレームをタイトフレーム留付け材で取付け、その上に吊子を吊子留付け材で留付ける。

・屋根葺材をタイトフレームと吊子に固定する。